

あずま小学校だより

学校通信 第8号 令和元年9月17日
学校教育目標 よく考える子 思いやりのある子 たくましい子



学力向上に向けて ～全国学力・学習状況調査の結果より～

4月に行われた「全国学力・学習状況調査」は、全国の小学校6年生と中学校3年生を対象として行われるものです。内容は、「国語」「算数」、児童の生活・学習状況に関するアンケートです。本年度より、「知識」の問題と「活用」の問題の両方が、一つのテストに入っている形式となりました。

全国学力・学習状況調査の個々の結果は、本日個人カードとして6年生全員に配付いたしました。各ご家庭で話し合ってください、今後の学習の参考としてください。

校内で結果分析を行った結果、**学力状況調査**では、国語の「漢字やことわざを目的に応じて正しく使うこと」「文章の内容を理解し、自分の考えを明確にしながら読むこと」、算数の「計算の仕方や計算の順序の理解」「棒グラフの読み取り」、の学習についての正答率が高く、良くできていました。反面、国語の「目的に応じて自分の考えを書くこと」「話し手の意図を捉えながら聞いたり、質問したりすること」、算数の「計算の決まりや成り立つ性質の理解（特にわり算）」「1当たりの考え方を活かした資料の読み取り」、の学習についての正答率が低く、課題があることが分かりました。また、国語、算数とも活用問題の正答率が低く、活用する力を伸ばしていく必要性を感じました。**学習状況調査**では、「粘り強く、失敗を恐れず様々なことにチャレンジしていること」「自己肯定感が高く、将来の夢や目標を持っていること」「今の学習が今後の生活に役立つことを理解していること」などが分かり、うれしく思いました。反面、「家庭学習の時間が少ない児童もいること」や、「読書量に差があること」も分かりました。

これらの結果を受け、あずま小学校では、今後の学力向上対策として、以下の点に重点をおいて取り組んでいきたいと考えております。

①「わかった!」「もっとやりたい!!」と思える授業

本校は、昨年度まで2年間、学力向上推進モデル校の指定を受け、子どもたちの「なぜ?」を「わかった!」「もっとやりたい!!」につなげる算数の授業づくりに全職員で取り組んできました。それらの研究を、今年度は国語科でも活かしています。授業の流れや、板書、ノート指導などの共通実践、また、子どもたちが「なぜ?」「やってみよう!」と思えるような課題の工夫、また、「わかった!」と思えるような子どもたち同士で学び合う場面の工夫、そして、「もっとやりたい!!」と思えるような授業の振り返り活動を行っていきます。ただ答えが出ればよいということではなく、「どうしてそう考えたのか」という「根拠」を明確にしていく授業を積み上げ、子どもたちの活用力を伸ばしていきます。



②朝学習や家庭学習の充実

算数・国語の基礎的・基本的な学習に計画的に取り組めるよう、朝学習や家庭学習の充実を図っています。また、基礎→発展→さらに発展と段階的に学習できるような学習プリントに取り組ませています。2学期以降、学力状況調査の結果を活かした朝学習や家庭学習も取り入れていきます。

また、日々の宿題もちろん大切ですが、「家庭学習のすすめ」にある自主学習の例を参考に、子どもたちが自主的に苦手な学習や興味のある学習に取り組めるよう、学校でも声をかけていきたいと思えます。



③読書に親しむ環境作り

2学期より、「学年でおすすめの本30冊」を設定し、「リーチャレ」(Reading Challenge)というカードを用い、良い本との出会いを大切にする取り組みを始めました。様々な種類の良い本との出会いで、語彙力の向上を図ります。